

水都大阪の取組みについて

～「持続的な成長」をめざして～

2026年2月

水都大阪コンソーシアム(SOC)



■当面の課題

- 2025年大阪・関西万博開催年にあたり、国内外の利用客に対し、社会実験を踏まえニーズにあわせた観光船の定期的な運航の拡充など十分な乗船機会の確保
- 万博期間中の来阪者に対して、様々な方法で水都大阪の魅力を効果的に伝えるとともに、地域住民のシビックプライドの醸成
- 多様な企業・団体等との連携を通じて、水辺のにぎわいや活性化に関する取組みの拡大

■2025年度事業の方向性

2025年大阪・関西万博開催にあたり、これまで培ってきた水辺の魅力向上の取組みを国内外の方々に存分に体感していただく

- 万博を契機に、新たな船着場の活用等による乗船機会の創出
(観光船の定期的な運航の拡充・クルーズ商品開発の支援など)
- 水都大阪のブランディングの確立と情報発信のさらなる強化
(万博や大阪府市重点事業等との連携、インバウンドヘリーチする情報発信の強化など)
- 万博会期中はもとより終了後も、水辺活性化と新しい担い手の確保
(水辺拠点施設等との連携強化など)

2025年度の主な実績(1)

- ①万博を契機に、新たな船着場の活用等による乗船機会の創出
- ②水都大阪のブランディングの確立と情報発信のさらなる強化
- 水辺のにぎわいや、船が行き交う風景を四季を通じて創出
- ・春の水都大阪ウイーク(3月～5月)

八軒家浜水辺の憩いの広場【約67,000名来場(3月～4月合計)】

大川さくらクルーズ「小学生無料乗船企画」の支援【約3,100名乗船】

中之島公園バラフェスタ【約11,600名来場、175名乗船】



大川さくらクルーズ



八軒家浜水辺の憩いの広場



中之島公園バラフェスタ



バラ園クルーズ

・夏の水都大阪ウイーク(8月)

EXPO酒場 八軒家浜店(八軒家浜船着場)【180組約220名来店】、本町橋 かつぱの住処(本町橋船着場)【68組約100名来店】

OSAKAリバーファンタジークルーズ／八軒家浜周遊クルーズ／光の水上パノラマツアー【119名乗船】

水上の風鈴めぐり(天満橋、渡辺橋、ガーデンブリッジ、道頓堀橋、本町橋、東横堀川水門)



水上の風鈴めぐり



EXPO酒場 八軒家浜店



本町橋 かつぱの住処



リバーファンタジークルーズ

2025年度の主な実績(2)

・秋の水都大阪ウィーク(9月)

EXPO酒場 八軒家浜店～かっぱのお月見会～(八軒家浜船着場)【66組約100名来店】

本町橋かっぱの住処～水辺の芋煮会～(本町橋船着場)【46組約60名来店】

イベントと連動したクルーズを実施(八軒家浜周遊クルーズ、はしご酒クルーズ、光の水上パノラマツアー)【85名乗船】

中之島水辺のぱん&スイーツまつり(中之島公園)【約2,000名来場、67名乗船】

関西の有名ベーカリー・パティスリーが集結するイベントを誘致(大阪日日新聞社主催)し、水都大阪かるた大会や音楽ステージの開催、心地よい秋の中之島を周遊できるクルーズと連携し、水辺の中之島公園の滞在の満足度を向上させる形でイベントを実施



EXPO酒場 八軒家浜店



本町橋 かっぱの住処



はしご酒クルーズ



中之島水辺のぱん&スイーツまつり

・冬の水都大阪ウィーク(12月)

大阪・光の饗宴エリアプログラムとして3回目の開催。今回は新たに中之島の剣先部分を「光の三十石船」としてライトアップした。

- ・水都大阪かるたデジタルスタンプラリー(大川、水の回廊、ベイエリアの各所)(8月～12月)【参加人数195名】
- ・中之島EAST 水辺の散歩道2025(天満橋八軒家浜・中之島公園東部)(8月～2026年1月)
- ・天神橋TORCH(らせんスロープライトアップ)(2024年11月～2026年1月)
- ・水上ミニ花火の効果的な活用(計2回)(11月末時点)



水都大阪かるた
デジタルスタンプラリー



水辺の散歩道2025と
天神橋TORCH



水上ミニ花火

2025年度の主な実績(3)

●民間ビジネスの創出

・万博会場(夢洲)への水上交通支援【万博航路乗船者数約115,200名】

●水都大阪のブランディングの発信・強化

・SNS実績:1,223回発信(前年比194%)、フォロワー数約17,494名(同112%)(12月末時点)、
TV等マスコミ掲出数:32件(12月末時点)

・メルマガの発行:21回発信、登録者数812名(12月末時点)

・HPの保守・運営

・ツーリズムエキスポジャパンへの出展(名古屋)(9月)※大阪観光局等と合同出展

・万博会場における水都のPR【来場者数約500名/回】

・大学生や小中学生による「水都大阪」の魅力発見・発信プロジェクト「水都大阪アカデミア」の実施

・クルーズマップ(4か国語)や水都大阪の教科書の増刷・活用

●水都大阪ビジョン2030(案)策定

③万博会期中はもとより終了後も、水辺活性化と新しい担い手の確保

・船着場案内板等表示事業

・水辺を語る会の実施(5月)

・水辺拠点施設の連携に向けた仕組みづくりの構築



話題となった水都大阪からデジタルスタンプラリー
(NHKの情報番組「ほっと関西」で放映)



SNS発信



ツーリズムエキスポジャパン



水辺を語る会